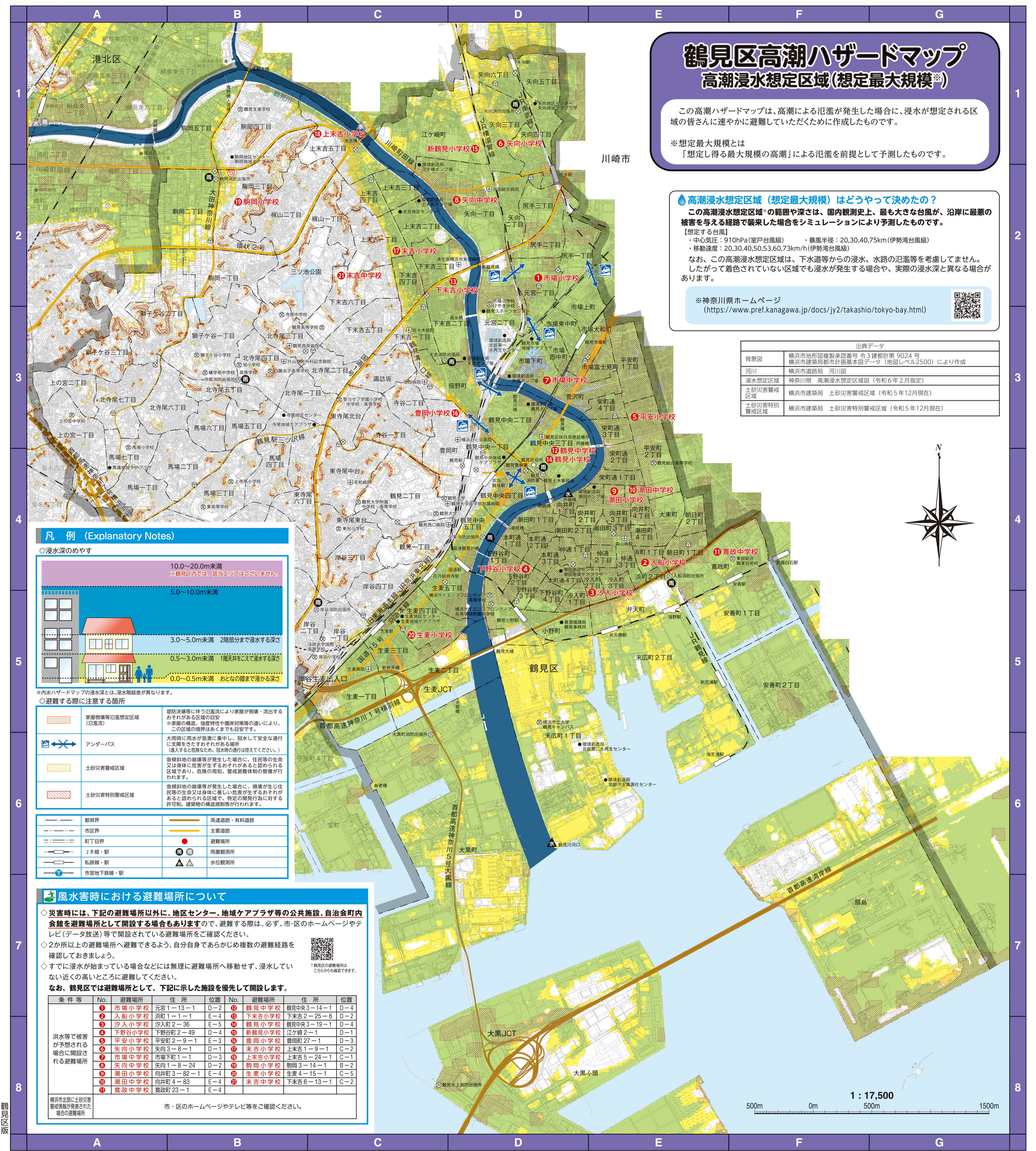




3 高潮の発生について

高潮とは

台風や発達した低気圧が通過する際、海面(潮位)が大きく上昇することがあり、これを「高潮」といいます。

高潮は、主に「気圧低下による吸い上げ効果」と「風による吹き寄せ効果」が原因となって起こります。また、満潮と高潮が重なると高潮水位はいっそう上昇して、大きな災害が発生しやすくなります。

① 気圧低下による吸い上げ効果

台風や低気圧の中心では気圧が周辺より低いため、気圧の高い周辺の空気は海水を押し下げ、中心付近の空気が海水を吸い上げるように作用した結果、海面が上昇します。

気圧が1ヘクトパスカル(hPa)下がると、潮位は約1センチメートル上昇すると言われています。

例えば、それまで1000ヘクトパスカルだったところへ中心気圧950ヘクトパスカルの台風が来れば、台風を中心付近では海面は約50センチメートル高くなり、そのまわりでも気圧に応じて海面は高くなります。

② 風による吹き寄せ効果

台風や低気圧に伴う強い風が沖から海岸に向かって吹くとき、海水は海岸に吹き寄せられ、海岸付近の海面が上昇します。

この効果による潮位の上昇は風速の2乗に比例し、風速が2倍になれば海面上昇は4倍になります。また、風が吹いてくる方向に開いた湾の場合、地形が海面上昇を助長させるように働き、特に潮位が高くなります。

想定条件

中心気圧 **910hPa**、暴風半径 **20,30,40,75km**、移動速度 **20,30,40,50,53,60,73km/h**の台風

避難情報がでたら

～避難情報が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は、速やかに避難を開始してください～

警戒レベル	発表表示	とるべき行動	避難情報(横浜市)
警戒レベル5	緊急安全確保	【命の危険 直ちに安全確保！】 ●災害が発生・切迫しており、命を守るための最善の行動をとる。	緊急安全確保
警戒レベル4	避難指示	【危険な場所から全員避難】 ●直ちに身の安全を確保できる場所へ避難する。 (口情報の入手方法と日頃からの備えの「避難の考え方」も読みください) ●避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難する。 天候や水位の急変時には、高齢者等避難を促す避難指示を発令することがあります	避難指示
警戒レベル3	高齢者等避難	【危険な場所から高齢者等は避難】 ●避難に時間や要する人(高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は、安全な場所へ避難を開始する。 ●その他の人は、家族などと一緒に、持ち出し品の用意など、避難の準備を開始するとともに、危険だと思ったら早めに避難する。	高齢者等避難
警戒レベル2	—	【自らの避難行動の確認】 ●避難に備え、ハザードマップ等により自らの避難行動を確認する。 ●避難情報の把握と、避難手段の確認をする。	—
警戒レベル1	—	【災害への心構えを高める】 ●防災気象情報等の最新情報に注意する。	—